

小中それぞれの探究活動



大日向 学校新聞

第二二号

発行元

学校法人茂来学園
大日向小中学校

校長だより

朝の気温が零度を下回り、茂山が霧氷を纏う日が多くなりました。いよいよ冬の到来です。

校庭の池には氷が張り、氷の厚みを確かめたり、氷を割ってみたり、恐る恐る氷の上に乗ってみたりと、朝から池の周りに子どもたちが集まる光景は、今や大日向小の風物詩です。

さて、二期後半も体験を通して探究する子どもたちの姿が



運動場にてみんなでのんびり脱穀。

校舎のあちこちで見られました。今回は、下学年(二年生〜三年生)の様子を中心にお知らせします。

下学年の探究テーマは「だいでした。春に土作りをして種を蒔いた大豆が実り、無事に収穫されて皆で脱穀をしました。

あるクラスで採れた大豆の数をみんなで数えたところ、その個数は一万三千八粒。算数で「百のかたまり」や「大きな数」や「掛け算」を学んできたことが大いに役に立ちました。それから、大豆からできるいろんな食品作りに挑戦しました。こちらも国語の単元「すがたを変える大豆」がしっかりヒントになります。社会科の地域の産業の学習ともつながり、大日向四区にお住まいの三石さんの畑にもお邪魔させていただきました。

- 子どもたちは、
- ・豆腐を作るチーム



大豆の数、数えました！
13008粒。

- ・納豆を作るチーム
- ・きなこを作るチーム

に分かれ、レシピを調べながら、保護者のサポートも得て挑戦していききました。

初めてのことに悪戦苦闘しながらも、「苦汁を入れると固まる！」「煎るといい香りがする！」「白でひくって力がある！」「納豆になってる！」「餡子だ！」など、大豆がいろんな食品に姿を変える様子にワクワクの連続でした。またこれらを食べる様子にワクワクの連続でした。またこれらをご相伴に預かりましたが、なんとどれもおいしいこと！濃厚で大豆本来の甘みが生きていて、自分達で栽培し手作りした子どもたちの思いがしっかりと詰まっていることを感じました。

それでは皆さま、良いお年を。来年もよろしく
お願いいたします。

(小学校 校長 久保礼子)



七輪で火を起し、大豆を煎りました。



石臼を使って豆を挽き、きなこ作り。



三石さんの畑にお邪魔して、野菜作りのお話をさせていただきました。

中学校より

【二学期の集大成】

二学期も終わりをむかえ、学びの集大成期間に入った中学校。様々な学びの発表がありました。

先週末に発表が終わった紋様プロジェクトでは、幾何学的視点を学んだ後、タイルリングなど装飾の技法を生かして芸術作品を仕上げることができました。作品の紹介キャプションは英語で作成しています。(写真1)

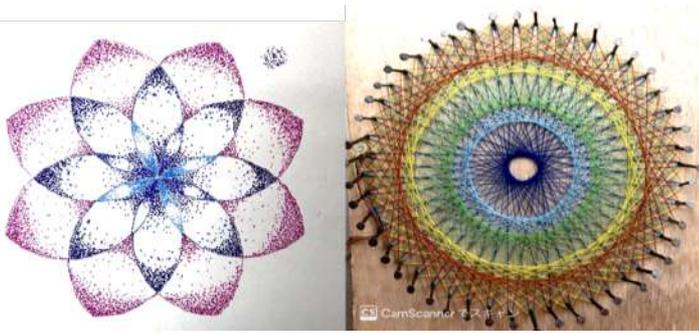


写真1



十月半ばから続いてきた個人探究プロジェクトは、発表を終えたばかりです。中学生の探究テーマ(図1)をぜひご覧ください。担当の大人や仲間と相談しながら、好きなことから視点を広げて学びを深めていきました。発表当日は保護者の方や小学生も見に来てくれて少々緊張気味だった中学生ですが、さすが大日向小中っ子。いざ自分の番になると、皆、自分の言葉で堂々と学んできたことを語り、表現し、質疑応答に答えていました。(写真2)

イエナプランの本づくり	バスケットが上手くなるには	なぜ東京ディズニーリゾートに魅了されるのか	中学数学の探究
ブラレール	世界旅行絶景	エコランのエンジンを探す	初心者がアクセルジャンプを跳べるようになる方法
金魚とフグ	理科室とオンラインで連絡をとる	佐久の郷土料理おなっとう	マリオカートでどれだけタイムを縮められるか
scratchで水族館のゲームを作る	ラジオ製作	ヨーロッパ巡りのスクラップブック	ダッシュ
透明骨格標本の作り方	ピクロスの様なゲームの制作	風刺画を描く	学校でサバイバルゲームを楽しく！安全にする！

図1



写真2

そして、二学期の最終日には、芸術プロジェクトの発表もあります。音楽と美術でコラボし、音で表現したり、身の回りの音を集めて曲を作ったりしました。多種多様な学びに向き合った二学期。中学生は、全力で様々なことにチャレンジしました！